

JET からの手紙

存在することで教える マイノリティ ALT として生徒の目を開く

山形県立北村山高校 外国語指導助手
Chy Wright (シャイ・ライト)

私が勤務する2つの高校は、山形県の山奥にあり、生徒は自動車整備、畜産、農業科学、化粧品製造など、私が全くできそうにない技術の習得に、日々情熱を見出しています。他方、英語については、苦手意識を持つ生徒が少なくありません。



冬の学校の写真

そこで私は、ALT (外国語指導助手) として生徒に教え伝えるべきこととして、次のシンプルな2つのポイントを定めました。

- ① 英語は楽しい
- ② 人は違って良い

まず、①のために、授業の大半に、ゲームを用いた学習を取り入れることにしました。

私は、人々の心を揺さぶるようなゲームをあまり知りませんが、一方で、ポップカルチャーに対する興味・関心は (少々恥ずかしいですが) 日本の高校生と一致していました。そこで、授業のアクティビティーにポップカルチャーを取り入れることにしました。その結果、普段あまり目にするものがないくらい、生徒たちの興奮を引き起こすことに成功しました。

生徒たちは、英語でコンビニのレイアウトについて説明するよりも、「私は誰? (Who am I?)」ゲームでカービィやシナモロールについて説明する方が、自分たちの英語力を積極的に伸ばしたことが分かりました。



次に、②についてはどう 生徒たちと文化祭にて
でしょうか。

田舎に住む外国人は、それ自体がすでに「異質」です。また、私はトランスジェンダーであることを公言しているという珍しい立場でもあります。女の子として生まれたにもかかわらず、生徒たちは初日から「シャイ先生のは『彼』と呼ぶように」と指導されています。

アメリカ人の私でさえ、成長期に LGBTQ+ を公言する教師に出会ったことはありません。私の周りには、私に生き方を示してくれるような大人はいませんでした。だからこそ、LGBTQ+ であることを公言していても、幸せで充実した尊敬される人生が妨げられはしないということを、生徒や同僚に示すことは、私にとって英語を教えることと同じくらい重要でした。

正直なところ、このことが日常生活において話題になることはほとんどありません (不定詞を学ぶ授業に私のアイデンティティーは関係ないからです)。しかし、それはふとした瞬間に現れます。例えば、実際の英会話では、同年代のアメリカ人に聞かれることもあると思うので、授業で英語の自己紹介を練習するときに、生徒には自分にとって好ましい人称代名詞も伝えるように勧め

AMERICAN-STYLE SELF-INTRO

My friends call me Chy

My pronouns are...

He/Him

She/Her

They/Them

I am from Sioux Falls, South Dakota, USA

My birthday is August 26th

I am good at playing music games

My five favorite things are...

- 1.) Digital art
- 2.) Vocaloid music
- 3.) Video games
- 4.) Manga
- 5.) Coffee



私が作った自己紹介活動のワークシート
自分の代名詞を選び、皆に共有できるようにした

ています。

昨年、私は県の弁論大会
で 20 分間の基調講演を行
う機会を得ました。そこ
では、「どんなに怖くても旅
をすることの大切さ」に焦
点を当てた内容を講演しま
した。短い時間でしたが、
私は、自分がトランスジェ
ンダーであるため、日本の



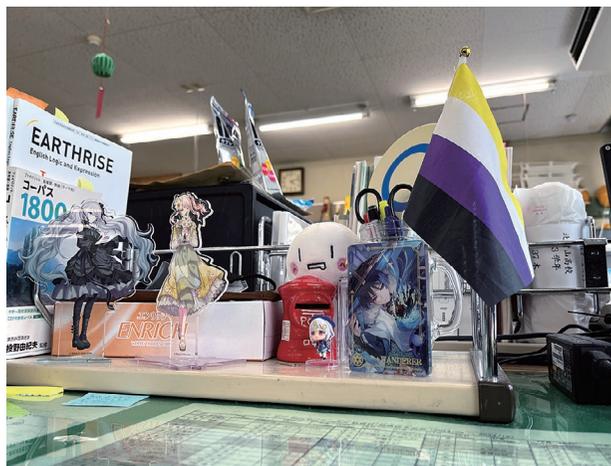
生徒たちとの写真

田舎に住んでいることに不安を感じているということ
を観衆にむけて告白しました。しかし、そこで私は、コミュ
ニティーの人たちが私を拒むどころか受け入れ、親身にな
ってくれすることに気づきました。この経験により、私は、
この新しい環境で自分らしく生きること自信を持つことが
できました。

今年も、地域大会で LGBTQ+ のアイデンティティー
やこれまでの体験に触れるスピーチを数回行い、そのうち
のいくつかで県大会への出場権を獲得することができ
ました。

私のスピーチが生徒たちにどのような影響を与えたか
について、正確に知る方法はありません。

しかし何よりも私のオープンな生き方が、生徒たちが
自分自身について自信を持って語ることに、そして、他の
生徒たちと堂々と人生や考え方を分かち合うことへの後
押しになればと願っています。



私のスタッフルームの机の写真。そこにはいつもノンバイナ
リー（トランスジェンダー）フラッグが置いてある

プロフィール

Chy Wright (シャイ・ライト)

アメリカの中西部で生まれました。
南オレゴン大学でデジタルアート
とクリエイティブライティングを
専攻し、グラフィックデザイナー
として働いた後、24歳の誕生日



に山形県で ALT として最初の授業を行いました。
私は両親と一緒にアニメを見て育ち、日本の漫画を読み、
そして自分の漫画を描くことを学びました。また、
名古屋市で勉強しながら、歴史、風景、食べ物、中古
の初音ミクのフィギュアの数々に囲まれ、そして日本の
文化を分かち合い、私の出身について学ぼうとする
人々の熱意に触れたことが、JET プログラムに参加す
るきっかけとなりました。

生徒たちに母国の話をするのは、私にとって大きな喜
びです。イラスト、漫画、小説など、どんな形であれ、
私は常に物語の語り手になりたいと思ってきました。
何よりも、アメリカにいる友人たち、日本の生徒や同
僚たち、そしてこの大きな地球を共有している見知ら
ぬすべての人たちに愛されるような物語を作れるよう
になりたいです。